



DNW-24014 の概要

課題名 : ヌクレオシドストレスに着目した新規抗体医薬の検証

主任研究者 (Principal Investigator) :

三宅 健介 (国立大学法人東京大学医科学研究所)

ステージ : 標的検証前期

【標的疾患】

自己免疫疾患 等

【創薬標的】

Toll 様受容体 (TLR)

【モダリティの設定】

抗体

【創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス】

以下のことが PI らにより明らかにされている。

- 1) Toll 様受容体のうち TLR7 及び TLR8 はウイルスに由来する 1 本鎖 RNA 及びその分解産物であるヌクレオシドとオリゴ RNA に結合することで自然免疫反応をひき起こす。
- 2) TLR7 及び TLR8 の活性化により SLC29A3 異常症におけるマクロファージの増殖が誘導される。
- 3) 全身性エリテマトーデスの病態モデルマウスにおいて、核酸に対する自己抗体の產生には TLR7 が関わっており、抗 TLR7 抗体による治療的介入により、その症状が著明改善する。

【支援ステージにおける目標】

- ・ 患者由来試料を用いて、自己免疫疾患等の病態発症及び進展における TLR の関わりについて検証する。
- ・ PI が保有する抗 TLR 抗体の薬理学的特性を明らかにする。

【関連特許】

非開示

本資料は、創薬総合支援事業（創薬ブースター）による支援の終了時の情報をもとに作成しています。